

飛騨高山 めでた通信

Vol. 9 令和2年 春号



世界中の人々と力を合わせて
新型コロナウイルス感染症の苦難を
共に乗り越えていきましょう！！

現会員数(3月現在)
特別会員 93名
サポート会員 175名
一般会員(FB会員) 33,570名

〈今号の写真〉
飛騨生きびな祭(高山市一之宮町)

新型コロナウイルス感染症拡大による各種イベントの中止について(お詫び)

今年度、実施予定であった「関西めでたの会」、市内視察については、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開催を自粛させていただきます。大変申し訳ありません。

関西めでたの会については、新型コロナウイルスの感染拡大が一段落したところで、早々に開催させていただきたいと存じますので、よろしくお願ひします。

また、市内の状況といたしましては、令和2年4月中旬現在では、感染者の発生は認められていません。しかしながら国内外での旅行等の自粛ムードの中、観光客の減少など経済活動の停滞による影響が様々なところでみられています。本市においても感染拡大の状況が解消され次第、各種経済活動の回復に向けた取り組みを実施してまいりますので、会員の皆さまにおかれましては、引き続き、飛騨高山の魅力の発信などに協力いただきますようお願いいたします。



めでたの会関係者限定 飛騨高山応援活動補助金 創設予定

現在、当市では新型コロナウイルス感染症拡大による市内経済の停滞状況を打開するため、飛騨高山めでたの会会員の皆さまのお力を借りたく、飛騨高山応援活動補助金を創設し、飛騨高山に多くの皆様にお越しいただけるような制度を準備中です。

(概要)

飛騨高山と縁のある方々が、新型コロナウイルス感染症予防のため、自粛状態が緩和する見込みのある一定期間において、本市を応援することを目的に訪問し、市内の宿泊施設(地元宿泊施設組合)に加入する施設に宿泊した場合、宿泊費の一部を市が負担

(対象者)

飛騨高山めでたの会 特別会員、サポート会員)等とその同行者(会員が含まれていることが必要)

(補助額)

1人当たり 三千元 (上限一万五千元 会員と同行者あわせて五名まで)

(実施時期)

国内の感染拡大の状況を勘案しながら、皆様に改めてご案内させていただきます。

中部めでたの会を開催

1月30日(木)に名古屋市内で「中部めでたの会」を開催し、25名の会員の皆様にご参加いただきました。会では会員相互の親睦を深めることはもちろんですが、飛騨高山のホットな話題を知っていただくため、特産品の詰め合わせを賞品に、飛騨高山クイズを行いました。さすがに中部地区の皆様は飛騨高山の隣の方ばかりとあって、よくご存じの方が多く、大いに盛り上がりました。また皆様からは飛騨の地酒を酌み交わしながら、市の取り組みに対し、いろいろなアドバイスをいただきました。飛騨高山への熱い想いを知ることができ、我々事務局職員一同、改めて飛騨高山の良さを実感し、めでたの会の方々と絆を感じました。



最近の主な出来事 (令和元年度下期)

○高山・デンバー姉妹都市提携60周年

記念事業 屋台模型修繕

高山市とアメリカ・コロラド州のデンバー市は、令和2年に姉妹都市提携60周年記念を迎えます。そのデンバー市には友好の証として実物の3分の2の大きさの高山祭屋台模型が展示されています。昭和39年に海を渡った屋台模型は長い年月を経て老朽化が進んでいましたが、この度市内の高山工業高等学校の生徒が平成31年2月から半年間かけ修繕のための部品や飾り金具、提燈、見送り幕などを製作し、令和元年10月に代表の4名の生徒がデンバー市へ渡航して、屋台模型の修繕を実施しました。

修繕された屋台模型のデンバー市での展示

日程は、コロナの影響のため未定となっています。



○第21回米・食味分析鑑定コンクール国際大会イン木更津

11月30日から2日間、千葉県木更津市で開催された大会において、全国で約5千点以上出品された中、最高賞の国際総合部金賞に市内生産者3人、特別優秀賞に4人、新設の大型法人部門では金賞2人、特別優秀賞1人、小学校部門でも丹生川小学校と本郷小学校の2校が金賞を受賞されるなど多くの生産者の方々が素晴らしい成績を収められました。

飛驒のお米のおいしさは全国でもトップクラスということは今年の大会でも証明されています。飛驒牛、ほうれんそう、トマトに続く基幹産業となるよう関係機関と連携し、今後も積極的にPRしていきます。



○飛驒地域初の水素ステーションがオープン

令和2年1月に飛驒地域初の水素ステーションとなるOKBひだ高山水素ステーションが高山市山田町にオープンしました。

水素ステーションは、次世代自動車である燃料電池自動車(FCEV)の燃料となる水素を供給する施設です。水素エネルギーは利用段階では地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないため、クリーンなエネルギーとして、今後様々な暮らしの場面で活用されることが期待されています。

市では、水素ステーションの開所に合わせて燃料電池自動車トヨタMIRAIを導入しました。



○天皇陛下のご即位に祝意

即位礼正殿の儀を前に、市内でも市民による天皇陛下のご即位に祝意を表する催しが開かれました。奉祝パレードでは、市民ら約二千人が市民文化会館から高山陣屋までをパレードし、万歳三唱が行われました。尚、天皇陛下のご即位の際には一之宮町の位山から切り出されたイチイの木による御笄が使用されました。



知っていますか？ 飛騨高山ブランド

(飛騨高山ブランドコンセプト)

飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが飛騨高山ブランド

高山市では平成28年度よりブランドコンセプトに基づき、飛騨高山の本物の魅力や価値にこだわったまちづくり・ものづくり・ひとづくりを進めています。会員の皆様にも飛騨高山の本物の魅力や価値を知っていただき、多くの皆様に伝えていただくことを期待しています。

～ 飛騨高山の名匠を認定しました ～

飛騨高山の名匠認定制度は、優れた技術と長年の経験を有する現役の技能者を「飛騨高山の名匠」として認定し、産業のさらなる振興と後継者の育成に資することを目的に平成26年度から実施している制度です。今年度は商工業分野から6人、農林畜水産業分野から2人の合計8人の方を新たに認定しました。



～ メイド・バイ飛騨高山認証製品をご紹介します ～

本制度は「匠の国」飛騨高山が生み出す地場産品が皆様の暮らしの豊かさに貢献できることを願い飛騨高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い地場産品を市が認証し、紹介する制度です。(令和元年度は新たに7産品を認証)

認証ロゴマーク →



抜群の香り、辛さ、痺れ



飛騨山椒 (有限会社 飛騨山椒) 0578-89-2412

古来より山と土と水に恵まれた標高800m前後の奥飛騨温泉郷高原川流域を中心に自生していた香りの強い優れた品種で、代々地元の人々によって大切に守り育てられてきました。飛騨山椒は長期保存が可能で、収穫から1年経っても香りが衰えないといわれています。他の産地の山椒に比べて、高冷地産特有の辛さと香りを備えており、口に入れるとさわやかな香りが鼻に抜け、少ししてからピリツとした辛さと痺れが舌を刺激します。この「香り、辛さ、痺れ」のバランスの良さが高冷地が育んだ飛騨山椒の特徴です。

有道しゃくし (有道しゃくし保存会) 0577-52-3362

久々野町有道地区で江戸時代から農閑期の副業として多くの家で生産していました。しかし、昭和42年の全戸離村によって生産者が減少し、有道しゃくしを作る技術が消えかかっていたのですが、平成13年に地元有志による保存会が立ち上がり、技術の伝承、生産販売に取り組んでいます。継ぎ目のない一体の木材で作るため丈夫で、鍋や具材を傷つけることなく調理することができることから、随筆家の白洲正子も「杓子の中の王者」とたたえています。また材料であるホオノキには、昔から殺菌作用があると言われています。

杓子の中の王者



祭礼行事を支える職人の技



飛騨染(有限会社 ゆはら染工) 0577-32-2113

飛騨染は京都の「憲法染」が飛騨に伝わったものとされています。祭礼衣装、幟、幕の染色など飛騨地方の染め物として定着した憲法染はやがて「飛騨染」と呼ばれるようになりました。もち米で作った餅糊を柿渋を塗った和紙に筒先を取り付け生地を下絵を描き、大豆のしぼり汁で溶いた染色料で、色挿し染色します。染色した生地を真冬に水にさらし、冬の冷気にあてる寒ざらしを行うことで、色持ちや発色が鮮やかになり、ハリとツヤが出ます。高山祭をはじめとする飛騨地域の祭礼衣装のほか、バッグなどの小物や鯉幟のオーダーメイドも手掛けています。



飛騨高山めでた通信 VOL9(特別会員・サポート会員会報誌)

飛騨高山めでたの会事務局
(高山市企画部ブランド戦略課内)

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL(0577)35-3001 FAX(0577)35-3174
MAIL: brand@city.takayama.lg.jp

めでたの会事務局では、より良い会・良い高山市にするためのアンケートを実施しています。ご協力をお願いします。

